

|              |   |      |   |     |       |      |    |
|--------------|---|------|---|-----|-------|------|----|
| 授業科目名        | 保育内容C   |      |   | 教員  | 相沢 和恵 |      |    |
| 開講時期         | 後期  | 配当年次 | 1 | 単位数 | 1     | 授業形態 | 演習 |
| 免許・資格との関係    | 保育士資格必修、幼稚園教諭免許必修   |      |   |     |       |      |    |
| 授業内容を示すキーワード | 保育内容 育みたい資質・能力 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 5領域 発達 遊び 生活 行事  |      |   |     |       |      |    |
| 授業の概要        | 養護と教育にかかわる保育内容について全体を通して理解し、総合的に保育を展開していくための子どもへの理解や保育内容、方法について学びます。実践的な活動を通して、子どもに育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿、5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の観点から捉え、ねらいと内容を具体的に習得します。   |      |   |     |       |      |    |
| 授業のねらいと到達目標  | <p>[ねらい] 保育内容を総合的に保育活動へ展開していくための知識、技術、判断力を具体的に考え、言語化し表現できる。子どもの生活と生活習慣に焦点をあて、保育内容との関連をふまえた意図やねらいを持ち保育を展開できる。</p> <p>[到達目標] (1)子どもの生活と五領域の総合性や関連性を説明できる。(2)基本的な生活習慣に対して子どもの発達に即した自立を育む意図やねらいを持ち、配慮を考えられる。(3)生活の流れ、年齢に適した保育活動の実践を協働して行い、自らの体験した保育実践活動を記録をふりかえり評価できる。</p>  |      |   |     |       |      |    |
| 授業の方法等       | 演習・講義を合わせて行います。<br>保育教材披露等、学生全体に披露する実践を行います。  |      |   |     |       |      |    |
| 授業計画         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション、保育内容と基本的な生活習慣、生活習慣を身に付けることの意義</li> <li>2 衣服の着脱 (子どもの発達から考える:着る・脱ぐ・履く・被る・ボタンやファスナー・身だしなみ)</li> <li>3 衣服の着脱 (生活の場面から保育者の配慮を考える:物的・人的環境での創意工夫)</li> <li>4 食事・食育 (子どもの発達から考える:食形態・食具や食器・楽しく食べる・マナー)</li> <li>5 食事・食育 (生活の場面から保育者の配慮を考える:物的・人的環境での創意工夫)</li> <li>6 睡眠 (子どもの発達から考える:睡眠のメカニズム・乳幼児の睡眠・午睡・就学へ向けて)</li> <li>7 睡眠 (生活の場面から保育者の配慮を考える:物的・人的環境での創意工夫)</li> <li>8 遊びの中で生活習慣を意識できる保育活動 (子どもへのねらいと配慮)</li> <li>9 遊びの中で生活習慣を意識できる保育活動 (保育内容を意識した活動への実施計画と準備)</li> <li>10 遊びの中で生活習慣を意識できる保育活動 (保育内容の模擬実践と評価・改善)</li> <li>11 排泄 (子どもの発達から考える:おむつからおむつはずし、排泄の自立、トイレへ)</li> <li>12 排泄 (生活の場面から保育者の配慮を考える:おむつ交換・おむつはずし・マナーや身だしなみ)</li> <li>13 清潔・身だしなみ (子どもの発達から考える:手洗い・うがい・歯磨き・身支度)</li> <li>14 清潔・身だしなみ (生活の場面から保育者の援助を考える:感染予防・衛生管理における配慮)</li> </ol> <p>振り返り・フィードバック(試験結果等配付日にコメント追記したものを返却)</p> |      |   |     |       |      |    |
| 成績評価の基準と方法   | 定期試験(レポート) 40% 授業への取り組み・態度 30% 提出物 30%  |      |   |     |       |      |    |
| 教科書          | 『保育所保育指針解説』フレーベル館、『幼稚園教育要領解説』フレーベル館<br>『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館、月刊「保育とカリキュラム」ひかりのくに   |      |   |     |       |      |    |
| 参考書          | 適宜、必要な資料を配付します。   |      |   |     |       |      |    |
| 予習・復習・課題など   | 保育内容Aと同様、単元ごとにシートを作成して提出します。そこへ添削等助言を加え、後日に返却します。担当者からの助言をもとにシートを加筆修正し、再添削を図った後、整理して保存するよう学習習慣を身に付けます。保育実技実践に対して見通しを持って準備を意欲的に取り組み、扱う教材の準備管理に責任を持つようにしましょう。   |      |   |     |       |      |    |
| 関連科目         | 保育内容A、保育内容B、保育内容D、保育内容総論、保育・教育課程論、教育方法・技術論  |      |   |     |       |      |    |
| 質問受付の方法      | 適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。  |      |   |     |       |      |    |
| 履修上の注意       | プリント等は、A4版2穴ファイルに整理、保存すること。なお、保育内容A～Dまでを一貫して記録保存します。授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示をよく聞いてください。  |      |   |     |       |      |    |